

企業の国際競争力を向上

横浜市は、ライフサイエンス産業の成長性に着目し、鶴見区末広地区に、理化学研究所や産学共同研究センターなどの研究機関やバイオ系企業

の誘致・集積をいち早く進めてまいりました。

特に、グローバルな都市間競争が激化する中において、市内企業の競争力を高める取



横浜市長

林 文子氏

り組みを加速化しています。今年3月には、横浜市立大学が金沢区福浦に先端医学研究センターの新研究棟を完成させ、企業との協業などにより、産学連携ラボを整備いたしました。今後も、産学協同による大型プロジェクトの獲得や推進に向けた体制整備を進めていきます。

また横浜市は、全国で唯一、「国際戦略総合特区」「環境未来都市」「特定都市再生緊急整備地域」の三つの国家プロジェクトの同時選定を受けています。なかでも、あわせて、特区内での研究

成果を国内外に発信していくため、情報や知識の交流の場となるMICE機能の強化を進めています。

横浜市は、アジア太平洋経済協力会議（APEC）やアフリカ開発会議の開催など、国際コンベンション都市として豊富な実績を有しており、医学系会議も数多く開催されています。今後とも、アフターコンベンションの充実やMICE機能の拡充により、世界に冠たるライフイノベーションの情報・ビジネス拠点として、国際競争力を高めてまいります。

横浜経済を支えてくださっている企業の皆さま、一緒に、さらなる経済活性化を進めてまいりましょう。

国際的な課題解決に貢献

地球温暖化をはじめとする環境問題や、少子高齢化など国内外が直面する課題解決に資する産業創出が求められています。

このため、本市は、国に先駆け、三つの成長分野のイノベーションを積極的に推進します。



川崎市長

阿部 孝夫氏

「ショーン」です。川崎区殿町の「キングスカイフロント」において、国際戦略総合特区を活用し、ライフサイエンス分野の国際的先端研究開発拠点の形成を進めています。万能細胞（iPS細胞）を活用した最先端の治療法などを研究開発する「実験動物中央研究所（実中研）再生医療・新薬開発センター」、そしてさまざまな企業・研究機関等の連携による共同研究を促進する「川崎生命科学・環境研究センター（LISE）」の2機関が既に運営を開始しており、さらにナノ医療技術の実

用化を目指す、「仮称」ものづくりナノ医療イノベーションセンター」の整備が進んでいます。

また、今年4月には、中小企業の連携促進等を盛り込んだ「産業連携に関する基本協定書」を東京都大田区と締結し、さらなる取り組みの広がりも期待できます。

二つ目が「グリーンイノベーション」です。公害克服の過程で培われた環境技術と行政施策をパッケージ化し、アジアをはじめ、工業化が進む都市に移転することで、国際社会に貢献する新たな取り組みを進めます。また、一般の方にも分かりやすく、環境技術などの「見える化」を行う「かわさき環境ショーウィンドウ事業」や国際的なビジネス

日本の新たな拠点として

相模原市では、圏央道のインターチェンジ（IC）オーブン、相模総合補給廠の一部など、大規模なプロジェクトが進行しています。



相模原市長

加山 俊夫氏

本年3月、首都圏の高速道路を連結する圏央道の相模原愛川ICがオープンしました。今年度中には中央自動車道、関越自動車道と接続される予定で、これにより主要都市へのアクセス性が飛躍的に向上します。

圏央道の開通に伴い、市内に設置される二つのIC周辺では企業の立地ニーズが高まっております。現在、市内では4カ所での新たな産業拠点の整備を進めています。

また、本市周辺の八王子市や町田市など首都圏西部の圏域の人口は約230万人にもなり、圏央道、リニア中央新幹線をはじめとする広域交通網の整備が進むことで、人・モノ・情報の交流がより活性化することが期待されていることから、現在、橋本・相模原駅周辺を一体的な核とする広域交流拠点の形成に取り組んでいます。この先、羽田空港の国際化が一層進めば、広域交通網を通じて、国内はもとより、成長著しいアジア経済圏とのアクセス性の強化につながります。

本市は、1954年の市制施行以来、全国有数の内陸工業都市として発展し、今では日本を代表する企業の基幹工場や研究拠点が多く立地するほか、宇宙・航空の研究開発

に取り組み宇宙航空研究開発機構（JAXA）が立地しています。

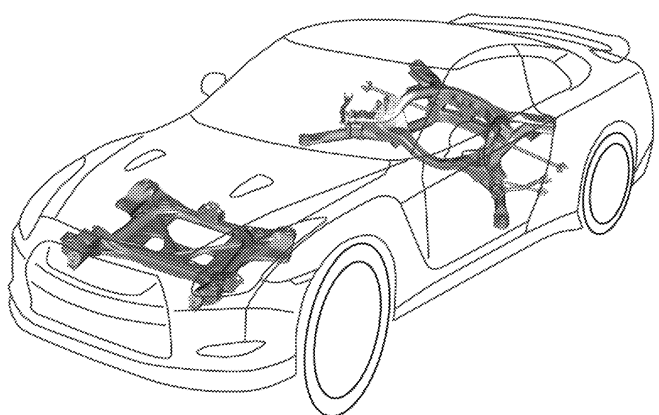
本年2月には、本市を含む圏央道沿いの9市2町の全域が「さがみロボット産業特区」として国から指定されました。

こうしたポテンシャルを最大限に活用することにより、今後には、ビジネス機会の拡大や多様な人材交流を促進し、技術革新、販路開拓を強化するとともに、製造業などの企業誘致にもさらに積極的に取り組みながら、アジア地域と首都圏両地域とをつなぐ日本を代表する企業の基幹工場や研究拠点が多く立地する「広域交流拠点都市」を実現してまいります。

政令指定都市市長メッセージ

2

走りの未来は、ここから生まれる。サスペンションの「ヨロズ」



ヨロズは自動車メーカーの良き開発パートナーとして、新しい時代の新しいクルマ作りに貢献しています。

東京証券取引所市場第1部（証券コード7294）

株式会社 ヨロズ
http://www.yorozu-corp.co.jp

（本社）神奈川県横浜市港北区梅町3-7-60
TEL: 045-543-6800(代) FAX: 045-543-4915
（開発・技術センター）栃木県小山市横倉新田443
TEL: 0285-42-9830 FAX: 0285-42-9838



Control, Computer, Communication



Safety & Reliability

安全と安心を創造し、進化させていく信頼の技術

株式会社 **京三製作所**

鉄道信号システム 交通管理システム 電力変換システム インフォメーションシステム

本社・工場：横浜市鶴見区平安町2-29-1 TEL.(045)501-1261
東京事務所：東京都千代田区丸の内3-4-2 (新日石ビル) TEL.(03)3212-0451
http://www.kyosan.co.jp

SGSジャパン

SGS

SGSが御社の海外展開をお手伝いします。

SGSは、長い歴史と確かな実績、世界145カ国のネットワークを誇る、世界最大級の民間検査および認証会社です。

SGSの主な海外検査・分析・監査サービス

- | | |
|-------------|---|
| 繊維 | ：製品・生地・靴の検査 分析及び工場監査 |
| 家具・雑貨 | ：製品の検査 分析及び工場監査・
食品衛生法検査（対応可能国のみ） |
| 玩具 | ：製品の検査、分析及び工場監査・食品衛生法、
ST検査（対応可能国のみ） |
| 食品 | ：食品・原料の検査 分析及び工場監査 |
| 化粧品・洗剤 | ：製品・原料の検査 分析及び工場監査 |
| 家庭用電気製品 | ：製品・部品の検査 分析及び工場監査 |
| 自動車 | ：完成車・部品の検査 分析及び工場監査 |
| CSR | ：行動規範監査 |
| オイル・ガス・ケミカル | ：液体バルクカーゴの数量・品質検査 |
| オイル・ガス・ケミカル | ：世界各国の市場燃料の分析及び輸送サービス |

SGSジャパン株式会社

www.sgsgroup.jp

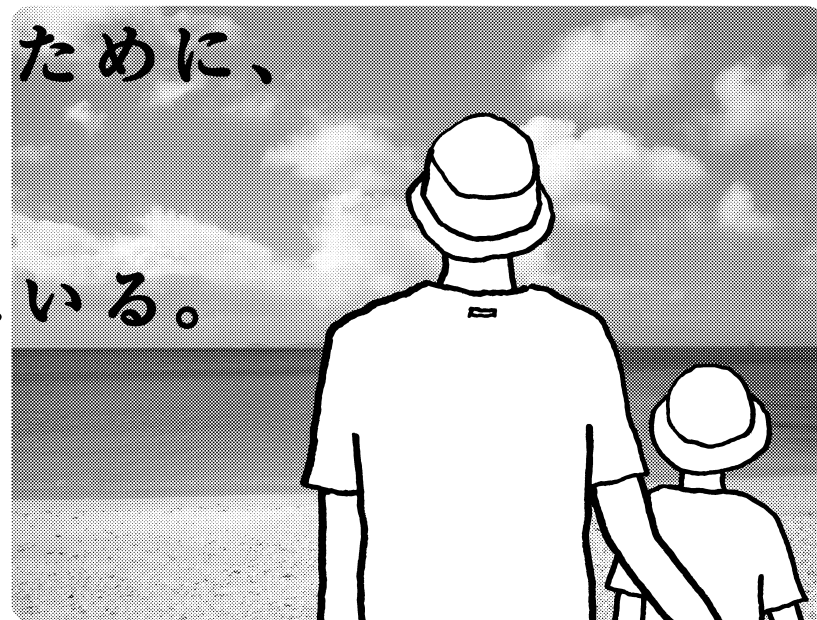
SGSジャパン

検索

〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパーク12F
コンシューマー テスティング サービス インターナショナルサービス部
TEL:045-330-5040 FAX:045-330-1109

オイル・ガス・ケミカル部
TEL:045-330-5028 FAX:045-330-1109

いつもの
安心のために、
いつも
そばにいる。



化粧品による肌のトラブルをなくしたい。そんな想いから無添加化粧品を生み出したファンケル。以来、サプリメントや発芽米、青汁などさまざまな商品とサービスを、安心、安全、やさしさの視点から提案しつづけています。

FANCL